

2008年6月17日
MR/J22/08



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学、第5回市民公開講座を開催 国際環境条約について考える

講座名: 国際連合大学公開講座～地球規模課題シリーズ
テーマ: 国際環境条約間のインターリンケージと効果的な実施
日時: 2008年6月20日(金) 午後4時15分～午後6時45分
場所: 国連大学本部ビル(渋谷区) 5階エリザベス・ローズ国際会議場
講師: ブラドニー チェインバース 国連大学高等研究所(UNU-IAS)
コメンテーター: 小川晃範 国連大学上級研究員
主催: 国連大学

- 国連大学では、第5回「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」を開催する。本講座はシリーズを通じて、国連大学にご協力いただいている専門家と一緒に国際的な諸問題について考える。対象は、学界、産業界、一般市民を含めた幅広い方々。各回のテーマは、国連大学出版部が刊行する図書から選択し、講師にそれぞれの図書の著者または編者を迎える。
- 6月20日(金)に開催される第5回講座では、講師に国連大学高等研究所(UNU-IAS)のブラドニー チェインバース氏、コメンテーターには国連大学上級研究員の小川晃範氏。ブラドニー チェインバース氏は国連大学出版部から刊行された『国際環境条約間のインターリンケージと効果的な実施 (Interlinkages and the Effectiveness of Multilateral Environmental Agreements)』の執筆者。
- 近年、環境問題の範囲や規模、複雑性に適切に取り組むための制度的対応が不十分であることが、地球環境悪化の主な原因であるという認識が高まりつつあります。特に、多国間環境協定(MEA)間や、生態系と社会システムの相関をより深く考慮した政策や法律間における調整と相乗効果が十分でないことに批判が集中しています。
- ブラドニー チェインバース氏は、本講座において、地球環境における知識と政策立案の格差について模索し、国際環境法へのアプローチ方法に関する理解を促すことを目指す。また、MEA間の協力に関する仮説について考察し、MEAの有効性を測定する枠組みを示すとともに、相関の強化を通してMEAの効果をどのように高められるかを解説する予定。
- 本講座は一般参加可能。日英同時通訳付き。会場の都合上、要事前申込み。尚、当日の様子は、ウェブキャストでも閲覧可能。詳細は右記のURLをご参照。 <http://www.unu.edu/isgi/>

当講座の取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。(電話:03-5467-1311、Eメール:media@unu.edu)

過去に開催した「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」について

第1回講座では「平和構築の死角」をテーマに取り上げて開催。続く第2回、第3回、第4回講座では環境問題に焦点をあて、「水の安全保障」、「アジアの気候変動政策」、「都市の持続可能性」をテーマに、それぞれ講座を開催した。

MEDIA ALERT